

中学生が作ったラジオ番組をオンエア！ 『南三陸町・戸倉から、2年目の春だより』 3月11日(月)～13日(水) クロノス「追跡」コーナーで放送

TOKYO FM『クロノス』(月-金 6:00-8:30)では、宮城県本吉郡南三陸町の戸倉中学校にて、「未来授業」と題した授業を実施。番組パーソナリティの中西哲生と高橋万里恵が、生徒たちにラジオ番組作りを指導しました。番組タイトルは「戸倉の町から、2年目の春だより」。生徒たち自身が町の人々にインタビューし、震災から2年目の“今”そして“未来”をリポートしました。



この模様のドキュメントと番組ダイジェストは、3月11日(月)～13日(水)にクロノス「追跡」コーナー(7:20頃)で放送します。

また番組の完全版は、登米コミュニティFM「H@! FM(はつとえふえむ)」で3月10日(日)10:30-11:00放送されます。

今回のラジオ番組作りでは、パーソナリティの中西哲生と高橋万里恵が、番組のテーマ設定から、取材先の選定、インタビュー取材の方法まで、実際のラジオ番組作りのノウハウを伝授しました。「インタビューするときは、いきなり本題に入らず、まず相手の気持ちをほぐしてから。助走が大事！」という中西らしいアドバイスも。

生徒たちは、町会議長に復興住宅や集団移転の計画を聞いたり、牡蠣やホタテの養殖の再生について漁協で話を聞いたり、郷土芸能の鹿子踊りの復活にかけの人や、復興商店街で働く人など、さまざまな身近な大人たちにインタビューを実施しました。そんな大人たちの声を聞いて生徒たちが感じたこととは…。番組のラストでは、生徒たちの思いが力強く語られます。

子供たちの目線から見た「戸倉の今、南三陸の今」が生き生きと伝わってくる番組。ぜひご期待下さい。



【「クロノス」と戸倉中学校の交流】

クロノスでは東日本大震災後、2011年4月18日(月)～5月15日(日)までの期間、被災地の子供たちに図鑑を届けるプロジェクトを実施し、リスナーから1万冊を超える図鑑が寄せられました。その1部を、同年6月、南三陸町の戸倉小学校と中学校に番組から直接届けました。これを機に2012年には「卒業式のお手伝い」や「WWF ジャパンとの特別授業」などを実施し、同校との交流を続けています。

【「クロノス」番組概要】

- 番組名：中西哲生のクロノス
- 放送日時：毎週月曜日～金曜日 6:00～8:30
(JFN系列全国38局ネット・一部東京ローカル)
- 出演者：中西哲生・高橋万里恵
- 番組HP：<http://www.jfn.co.jp/ch/>

